

MITSUBISHI

業務用・設備用ロスナイ システム部材
マイコンタイプ（フリープラン対応形）

形名

ジーニアスリモコン

PGL-61DR

据付工事説明書（1/2）

販売店・工事店様用

このリモコンは、マイコンタイプ（フリープラン対応形）のロスナイに接続し、ロスナイの運転・停止や換気モード切替・風量切替を行うものです。






- 据付工事を始める前にこの説明書をよくお読みになり、正しく安全に据付けてください。
また、ロスナイ本体および各システム部材の据付工事・取扱説明書と併用して施工してください。
- 据付工事は販売店・工事店様が実施してください。（お客様自身で工事しないでください）
- 据付けには壁に直接据付ける場合または、市販のJIS C 8340の2個用スイッチボックス(カバーなし)を使用する場合があります。
また、適用電線には無極性2芯シース付0.3mm²ケーブル、電線管には薄銅電線管(JIS C 8305)呼び径15~25、電線管に合うロックナット、プッシング(JIS C 8330)が必要です。

別冊の「取扱説明書」はお客様用です。据付工事が終わりましたらこの据付工事説明書と共に、お客様に必ずお渡しして、使用方法を説明してください。

- お使いになる方は、取扱説明書などとともに、いつでも見られる所に保管し、移設・修理のときは工事される方に、また、お使いになる方が変わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しください。

1 安全のために必ず守ること

- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

 警告		誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの	
 分解禁止	改造、修理は絶対しない 改造したり、修理に不備があると感電・火災等の原因になります。修理はお買上げの販売店にご相談ください。	 指示に従い必ず行う	据付けは、販売店または専門業者に依頼する お客様自身で据付工事をされ不備があると感電・火災等の原因になります。
 禁止	お客様自身で移設はしない 据付工事に不備があると感電・火災等の原因になります。お買上げの販売店または専門業者にご相談ください。		電気工事は、電気工事士の資格があるかたが、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および本説明書に従い施工する 電気回路容量不足や施工不備があると感電・火災等の原因になります。
 指示に従い必ず行う	配線は所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する 接続や固定が不完全な場合は、発熱・火災等の原因になります。		据付けは、十分耐えるところに確実に 強度が不足している場合は、本機の落下により、けがの原因になります。
		据付工事は、この据付工事説明書に従い確実に 据付工事に不備があると、感電・火災等の原因になります。	

 注意		誤った取扱いをしたときに軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの	
 禁止	可燃性ガスの漏れるおそれのある場所へ据付けない 万一ガスが漏れて本機の周囲に溜まると発火・爆発の原因になることがあります。	 ぬれ手禁止	濡れた手でボタンを操作しない 感電、故障の原因になることがあります。
	特殊環境には使用しない 油(機械油を含む)、蒸気、硫化ガスなどの多い場所で使用すると、性能を著しく低下させたり、部品が破損したりする場合があります。	 水ぬれ禁止	本機を水洗いしない 感電、故障の原因になることがあります。
	酸性・アルカリ性の溶液、特殊なスプレー等を頻繁に使用すると場所へ据付けない 感電・故障の原因になります。	 指示に従い必ず行う	病院、通信事業所などに据付ける場合は、ノイズに対する備えを十分に行う インバーター機器、自家発電機、高周波医療機器、無線通信機器等の影響による本機の誤動作や故障の原因になったり、本機側から医療機器あるいは通信機器へ影響を与え、人体の医療行為を妨げたり映像放送の乱れや雑音などの弊害の原因になることがあります
	ボタンを先のとがったもので押さない 感電、故障の原因になります。		配線は張力がかからないように配線工事を行う 断線したり、発熱、火災の原因になります。
	AC100VやAC200Vは絶対に印加しない リモコンへの印加電圧は最大でDC12Vです 破壊、発火、火災の原因になることがあります。		伝送線引込み口をパテで確実にシールする 露、水滴、ゴキブリ、虫等の侵入により、感電、故障の原因になることがあります。
 風呂・シャワー室での使用禁止	本機を据付ける付近の温度が40℃以上、0℃以下になる場所、または直射日光のあたる場所には据付けない 火災、故障の原因になります。	配線は電流容量に合った、規格品の電線を使用すること 漏電や発熱、火災の原因になることがあります。	
	浴室・厨房など水がかかる場所、大量の湯気が発生する場所には据付けない 壁が結露するような場所にも据付けない 感電、故障の原因になります。	据付けの際は手袋を着用する 着用しないとけがの原因になります。	

2 各部の名称と付属部品

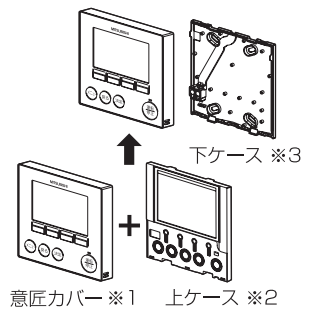
箱の中には下記部品が入っています。

品名	個数(個)	外観
リモコン(意匠カバー)	1	右図※1
リモコン(上ケース)	1	右図※2
リモコン(下ケース)	1	右図※3
十字穴付きナベネジ M4X30	2	
木ネジ 4.1X16 (壁に直接取付ける時使用)	2	
据付工事説明書 本書	2	
取扱説明書	1	

※4 意匠カバー(※1)と上ケース(※2)は、はめ込まれた状態で工場出荷されます。

※5 リモコンケーブルは付属していません。

意匠カバー+上ケース ※4



3 現地手配部品・必要工具

(1) 現地手配部品

下記の部品は現地にて手配してください。

品名	所要量	備考
スイッチボックス:2個用 (JIS C8340)	1	
薄鋼電線管 (JIS C8305)	必要量	壁面に直接据付ける場合は不要です
ロックナット、ブッシング (JIS C8330)	必要量	
モール (JIS C8425)	必要量	リモコンケーブルを壁面に這わす場合に必要です
パテ	適量	
モリーアンカー	必要量	
リモコンケーブル (2芯シース付0.3mm ² ケーブルを使用してください)	必要量	以下の別売ケーブルも使用できます PAC-YT81HC (10m)、PAC-YT82HC (20m)

(2) 現地必要工具

- ・マイナスドライバー (刃幅5mm)
- ・ナイフまたはニッパー
- ・その他一般工具

4 据付場所の選定

本リモコンは壁面に据付ける仕様となっています。「スイッチボックスを使用する」または「壁面に直接据付ける」が選択できます。「壁面に直接据付ける」場合、配線取出し方法を「背面取出し」または「上部取出し」から選択できます。

(1) 据付場所の選定

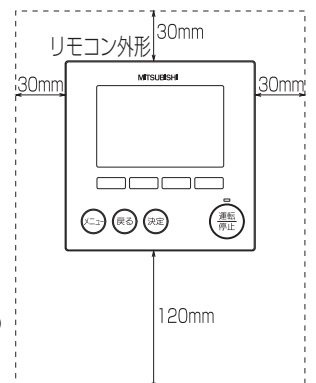
リモコン(スイッチボックス)を据付面が平らな場所に据付けてください。

お願い

- ・直射日光のあたる場所、または周囲温度が40℃以上・0℃以下になる場所にリモコンを据付けないでください。
(変形・故障のおそれがあります)
- ・水のかかる場所・湿度が高く結露するような場所・腐食性ガスや油が多い場所に、据付けないでください。
(誤動作・故障のおそれがあります)

(2) 据付スペース

リモコンをスイッチボックス・壁面のどちらに据付ける場合でも右図に示すスペースを確保してください。スペースが不足すると、リモコンをはずしくなります。また、リモコン正面側には操作ができるスペースを確保してください。



リモコン周囲の必要スペース

5 据付・電気工事

据付工事には「スイッチボックスを使用する場合」と「壁面に直接据付ける場合」があります。据付方法に応じて工事を行ってください。

① 壁面に据付け用の穴を開ける

■スイッチボックスを使用する場合

- ・壁面に穴を開け、スイッチボックスを据付けてください。
- ・スイッチボックスと電線管を接合してください。

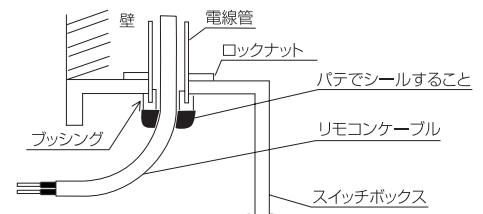
■壁面に直接据付ける場合

- ・壁に穴を開け、リモコンケーブルを通してください。

② リモコンケーブル引込口をシールする

■スイッチボックスを使用する場合

- ・スイッチボックスと電線管の結合部のリモコンケーブル引込口をパテでシールしてください。



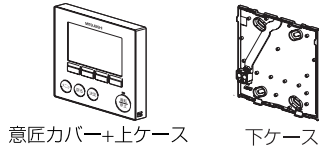
⚠ 注意

リモコンケーブル引込口をパテでシールする

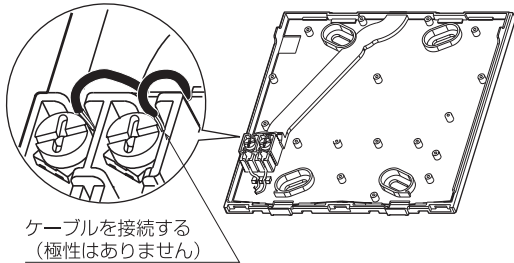
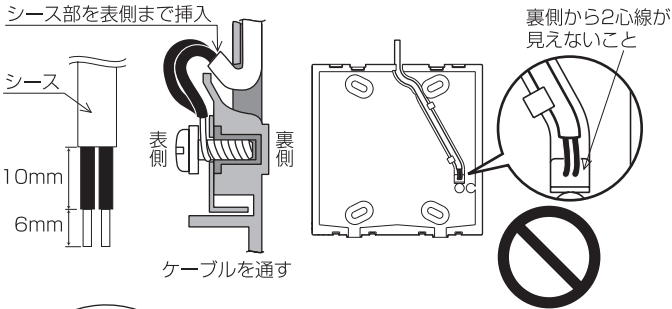
露・水滴・ゴミブリ・虫等が侵入すると、感電・火災・故障のおそれあり

5 据付・電気工事 つづき

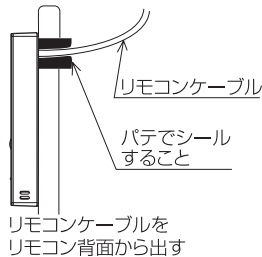
- ③ リモコンを準備する
リモコン本体の下ケース
を取出します。



- ④ リモコンケーブルを下ケースの端子台に接続する
リモコンケーブルを下記図のように加工し、下ケース背面から通してください。
リモコンケーブルのシースをむきとった部分が背面から見えないように、下ケース表側まで挿入してください。
被覆がかまれないようリモコンケーブルを端子台に接続してください。



- 壁面に直接据付ける場合
・下ケースのリモコンケーブルを通した穴をパテでシールしてください。



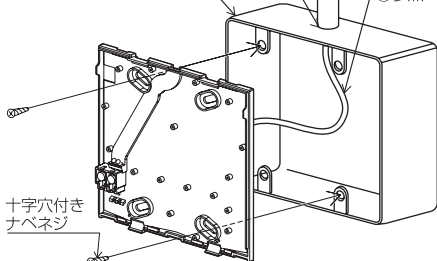
⚠ 注意

リモコンケーブルの切屑などが端子台に入らないようにすること
感電、故障のおそれあり

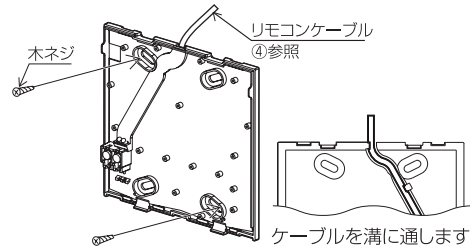
- ⑤ 下ケースを据付ける
■ スイッチボックスを使用する場合
・下ケースをスイッチボックスへ据付ける場合は必ず2か所以上固定してください。

リモコンケーブル引込口を
パテで確実にシールしてください。
①参照

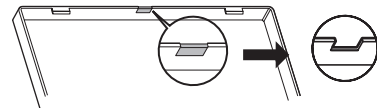
スイッチボックス:2個用
リモコンケーブル
④参照



- 壁面に直接据付ける場合
・ケーブルを溝に通します。
・下ケースを壁面へ据付ける場合は必ず2か所以上固定してください。
・配線により壁面からリモコンが浮くことを防止するため、リモコン正面から見て左上と右下の2か所を必ず固定してください。(モリーアンカーなどを使用して固定してください)

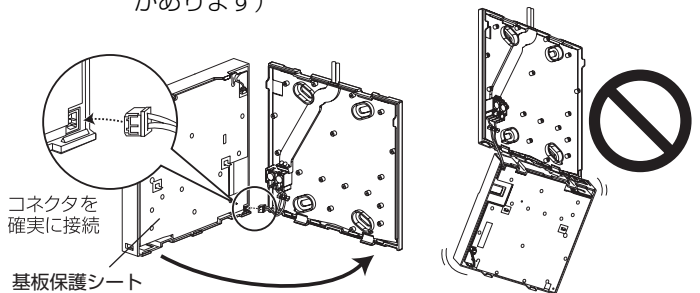


- ⑥ 配線穴を加工する
■ 壁面に直接据付ける場合
(リモコンケーブルを壁面に這わす場合)
・意匠カバーの内側薄肉部(下図のアミ掛け部)をナイフ・ニッパーなどで切り取ってください。
・下ケース背面の配線溝に通したリモコンケーブルをこの部分から取出します。



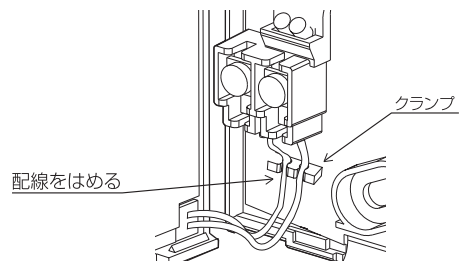
- ⑦ 上ケースに配線する
下ケースのコネクタを上ケースのコネクタに接続します。

- ⑧ 配線をクランプにはめる
⑨ 上ケースに配線する
■ 壁面に直接据付ける場合
(リモコンケーブルを壁面に這わす場合)
・意匠カバーの内側薄肉部(下図のアミ掛け部)をナイフ・ニッパーなどで切り取ってください。
・下ケース背面の配線溝に通したリモコンケーブルをこの部分から取出します。



- ⑧ 配線をクランプにはめる

- ⑨ 上ケースに配線する
■ 壁面に直接据付ける場合
(リモコンケーブルを壁面に這わす場合)
・意匠カバーの内側薄肉部(下図のアミ掛け部)をナイフ・ニッパーなどで切り取ってください。
・下ケース背面の配線溝に通したリモコンケーブルをこの部分から取出します。

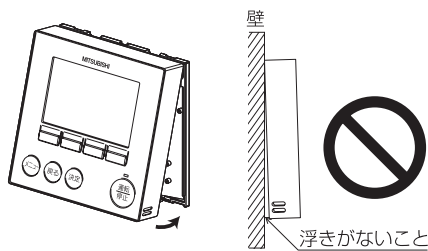


5 据付・電気工事 つづき

⑨ リモコン意匠カバー・上ケースをはめ込む

上ケース（工場出荷時、意匠カバーと上ケースは、はめ込まれた状態）の上部にツメが2か所あります。このツメを下ケースに引っ掛けて、“パチッ”と音がするまではめ込んでください。ケースに浮きがないことを確認してください。

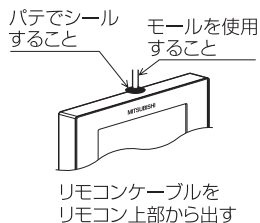
お願い ・ “パチッ”と音がするまではめ込んでください。（はまっていない場合、落下のおそれがあります）



■ 壁面に直接据付ける場合

（リモコンケーブルを壁面に這わす場合）

- ・ リモコンケーブルをリモコンの上部から出してください。
- ・ 意匠カバーの切り取った部分をパテでシールしてください。
- ・ モール（配線カバー）を使用してください。

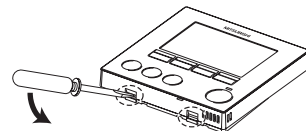


以上で据付工事は完了ですが、再度取りはずす場合は次の方法で行ってください。

● リモコン意匠カバー・上ケースのはずしかた

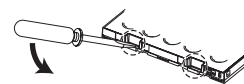
① 意匠カバーをはずす

刃幅5mmのマイナスドライバーをリモコン下部2か所のツメ部分のいずれかに差し込み、矢印で示す方向に動かします。引っ掛けているツメがはずれますので意匠カバーを手前上に引いて取りはずしてください。



② 上ケースをはずす

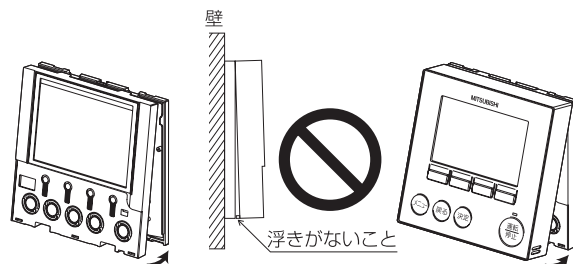
刃幅5mmのマイナスドライバーをリモコン下部2か所のツメ部分のいずれかに差し込み、意匠カバーと同様にしてはずします。



お願い ・ マイナスドライバーを強く差し込まないでください。（基板が破損するおそれがあります）
・ マイナスドライバーをツメにはめ込んだ状態で強く回転させないでください。（ケースが破損するおそれがあります）

③ 意匠カバー・上ケースを取付ける

上ケースの上部にツメが2か所あります。このツメを下ケースに引っ掛けて、“パチッ”と音がするまではめ込んでください。同様に意匠カバーを上ケースにはめ込みます。ケースに浮きがないことを確認してください。



お願い ・ “パチッ”と音がするまではめ込んでください。（はまっていない場合、落下のおそれがあります）

6 お願い

■ 2台のリモコンを接続したときは、1台を必ず従リモコンに設定してください。

設定方法は「8.3.初期設定（リモコン設定）」の項を参照してください。

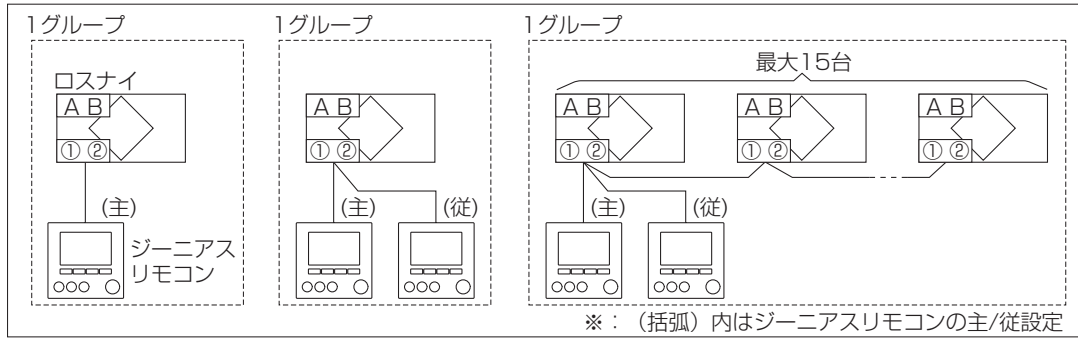
■ 工場出荷時、意匠カバーの操作面に保護シートを貼っています。

ご使用の前に、保護シートをはがしてください。

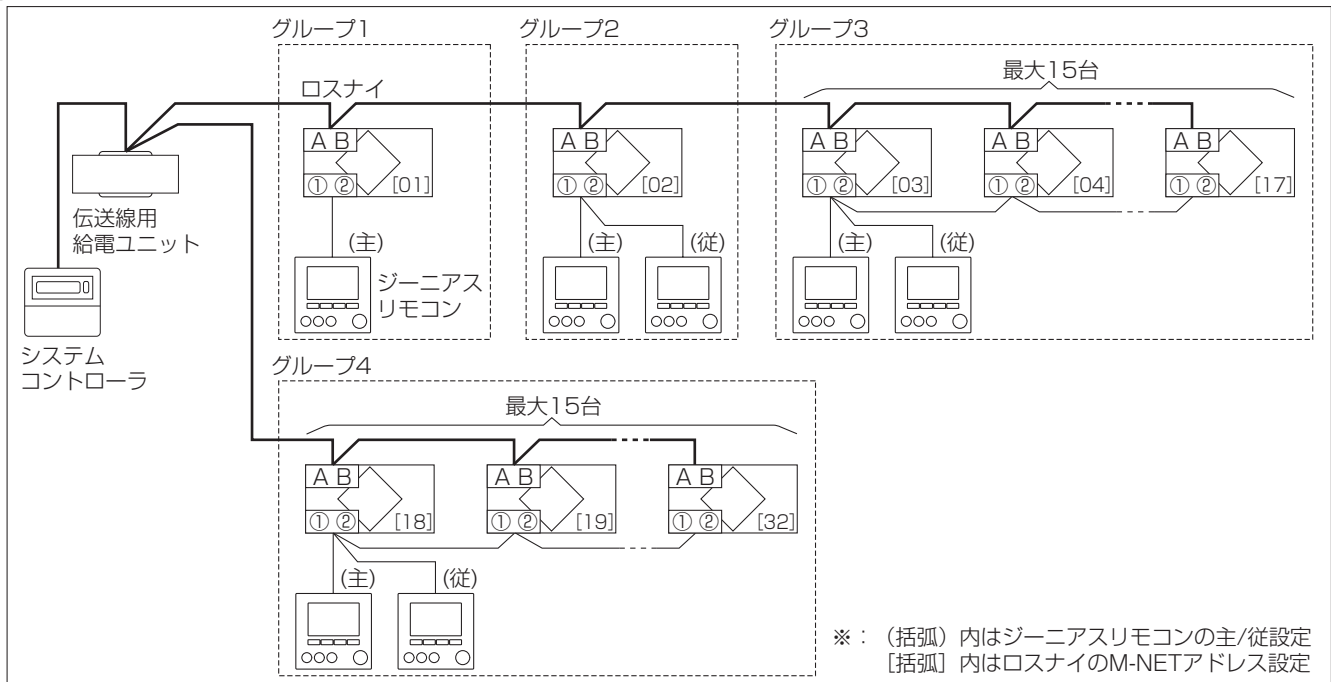
7 伝送線配線

リモコンの配線はシステム構成によって異なります。
ロスナイ本体への配線およびロスナイ本体の据付工事に関してはロスナイ本体の据付工事説明書を参照ください。

(1) ロスナイ単独システム



(2) MELANSシステム



a: ジーニアスリモコンとロスナイの配線

- ・ロスナイの端子台TB5①②に接続します。
- ・端子台TB5①②に極性はがありません。

b: ロスナイを複数台操作する

- ・ロスナイの端子台TB5①②同士を接続します。
- ・ロスナイは1グループに最大15台まで接続することができます。

c: ジーニアスリモコンを複数台接続する

- ・ジーニアスリモコンは1グループに最大2台まで接続することができます。
- ・ジーニアスリモコンそれぞれをロスナイの端子台TB5①②に接続します。
- ・1グループ内でジーニアスリモコン(PGL-61DR)以外のリモコンを併用することはできません。
- ・1グループ内に2台のジーニアスリモコンを接続した場合、主リモコンと従リモコンの設定を必ず行ってください。(「8.3.初期設定(リモコン設定)」参照)

d: リモコンケーブルの総延長

- ・ジーニアスリモコンの接続台数に関わらず、総延長は200mです。

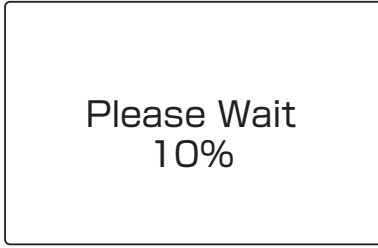
お願い ・リモコン同士の渡り配線はしないでください。
(リモコンの端子台には、配線は1本しか接続できません)

8 各種設定 つづき

2. 電源投入

「3.据付・電気工事」に従って本リモコンの据付工事が完了しているか、また、ロスナイ本体の据付工事が完了しているか確認してください。ロスナイ本体の電源を投入してください。

(1) 電源投入後、次の表示が出ます。

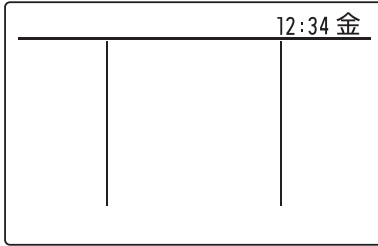


正常時（立上げ進捗を%で表示します）

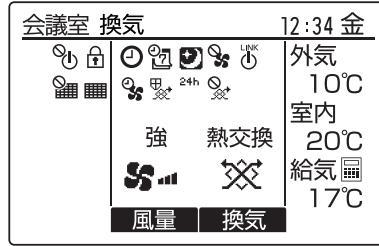
お知らせ：接続できない機種とつないだ場合は、「Please Wait」を表示したままとなります。

(2) メイン画面表示

正常に立ち上がるとメイン画面が表示されます。



メイン画面例（停止時）



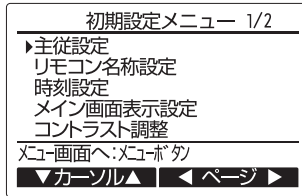
メイン画面例（運転時）

※すべてのアイコンを表示しています。

お願い ・アイコン表示の意味については「取扱説明書」を参照してください。

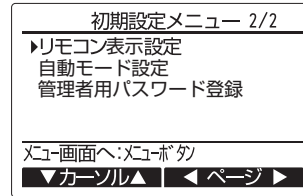
3. 初期設定(リモコン設定)

メイン画面から、「メインメニュー」→「初期設定」よりリモコン本体への各種設定を行います。



初期設定メニュー（1/2）

- ・主従設定
- ・リモコン名称設定
- ・時刻設定
- ・メイン画面表示設定
- ・コントラスト調整



初期設定メニュー（2/2）

- ・リモコン表示設定
 - 一時刻表示
 - 一温度単位表示
 - 一検知温度表示
- ・自動モード設定
- ・管理者用パスワード登録

(1) 主従設定

2台のリモコンを接続したときは必ず設定が必要です。2台のリモコンのうち1台を従リモコンに設定してください。

操作方法

- ① [F3] [F4] ボタンを操作すると現在選択している項目が反転表示されます。従リモコンを選択した後、**決定**ボタンにより設定更新します。（工場出荷時は“主”リモコンです）
- ② 設定後、**メニュー**ボタンでメインメニュー画面に戻ります。（以降の操作も、メインメニュー画面に戻る方法は同じです）

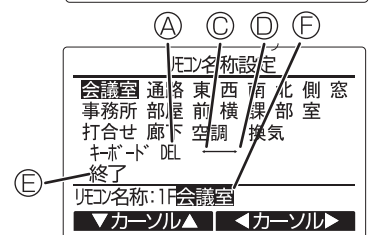
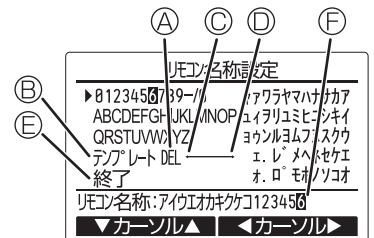


(2) リモコン名称設定

メイン画面に表示させる、リモコン名称の設定を行います。
リモコン名称は半角16文字まで入力できます。
（テンプレートで入力した文字は1文字あたり半角2文字分となります）

操作方法

- ① [F1]～[F4] ボタンにて文字を選択し、**決定**ボタンで1文字ずつ決定します。
- ② 「テンプレート」**ⓐ**を選択して**決定**ボタンを押すと、テンプレートを選択してリモコン名称を入力できます。（テンプレートは変更できません）
- ③ [←]**ⓒ** [→]**ⓓ**を選択すると、リモコン名称の文字入力カーソル**ⓔ**が移動します。選択した文字が対象となり文字消去、変更ができます。
- ④ 決定した文字を消去する場合は消去したい文字に文字入力カーソル**ⓔ**を合わせて「DEL」**ⓐ**を選択し**決定**ボタンを押します。
- ⑤ 入力が完了したら、「終了」**ⓔ**を選択します。**決定**ボタンを押してリモコン名称を決定します。



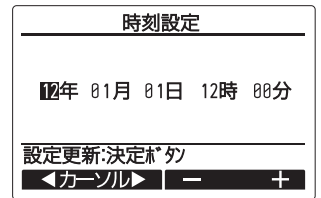
8 各種設定 つづき

(3)時刻設定

【操作方法】

- ①[F1] [F2] ボタンで変更する項目に移動します。
- ②[F3] [F4] ボタンにて、年月日時分を変更し、[決定] ボタンで設定更新します。
設定更新したデータは、メイン画面の時刻表示に反映されます。

お知らせ：「時刻表示・週間スケジュール設定・タイマー設定・ナイトパーズ運転・異常履歴」に必要なため、初めてご使用になるときや長期間ご使用にならなかったときは必ず設定してください。



(4)メイン画面表示設定

ロスナイは本機能に対応していません。

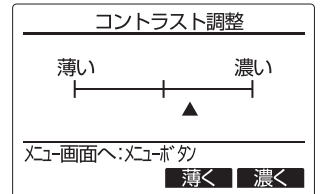
[戻る] ボタンで初期設定メニュー画面に戻ります。

(5)コントラスト調整

【操作方法】

[F3] [F4] ボタンにてリモコンの液晶表示のコントラストを調整します。現在の設定が▲で示されます。

お知らせ：据付位置や照明によって表示が見えにくい場合、コントラスト調整することにより改善する場合があります。
コントラスト調整により全方向から見えやすくすることはできません。



(6)リモコン表示設定

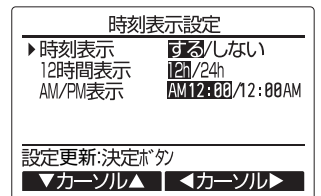
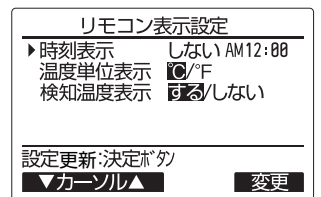
リモコンの表示に関する各項目について、必要に応じ設定を行います。

各項目を設定後、[決定] ボタンにて設定更新します。

①時刻表示

【操作方法】

- ・リモコン表示設定画面の「時刻表示」にて[F4] (変更) ボタンを押すと、時刻表示設定画面が表示されます。
 - ・[F1] ~ [F4] ボタンにより、メイン画面に表示する時刻表示の有無、時刻表示形式を選択します。
 - ・[決定] ボタンにより設定を更新します。(工場出荷時は“表示する/AM12:00表示”です)
- 時刻表示：・する (メイン画面に時刻表示します)
・しない (メイン画面に時刻表示しません)
- 12時間表示：・24h (24時間表示) ・12h (12時間表示)
- AM/PM表示(12時間表示のときのみ有効となります)：・AM12:00 (時刻の前にAM/PM表示)
・12:00AM (時刻の後にAM/PM表示)

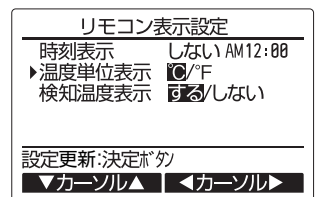


お知らせ：12時間表示形式、12時間/24時間表示はタイマー、スケジュールなどの設定表示にも反映されます。
12時間表示、24時間表示それぞれの表示例は以下の通りです。
12時間表示：AM12:00 ~ AM1:00 ~ PM12:00 ~ PM1:00 ~ PM11:59
24時間表示：0:00 ~ 1:00 ~ 12:00 ~ 13:00 ~ 23:59

②温度単位表示

【操作方法】

- リモコン表示設定画面の、「温度単位表示」にカーソルを合わせ、[F3] [F4] ボタンにて設定します。(工場出荷時は摂氏 (°C) です)
- ・°C: 温度表示単位を摂氏表示にします。
 - ・°F: 温度表示単位を華氏表示にします。

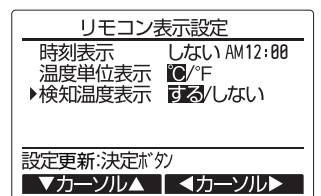


③検知温度表示

【操作方法】

- リモコン表示設定画面の、「検知温度表示」にカーソルを合わせ、[F3] [F4] ボタンにて設定します。(工場出荷時は「する」です)
- ・する：メイン画面に外気温度、室内温度、給気温度を表示します。
 - ・しない：メイン画面に外気温度、室内温度、給気温度を表示しません。

お知らせ：外気温度、室内温度はロスナイ本体の検知温度です。給気温度は標準的な熱交換効率を元に算出した計算値です。それぞれ実際の外気温度、室内温度、給気温度とは異なります。



MITSUBISHI

業務用・設備用ロスナイ システム部材
マイコンタイプ（フリープラン対応形）

形名

ジーニアスリモコン

PGL-61DR

据付工事説明書（2/2）

販売店・工事店様用

8 各種設定 つづき

(7)自動モード設定

ロスナイは本機能に対応していません。

[戻る] ボタンで初期設定メニュー画面に戻ります。

(8)管理者用パスワード登録

【操作方法】

①最初に現在設定されている管理者用のパスワード（数字4桁）を入力します。

[F1] [F2] ボタンで桁を選択し、[F3] [F4] ボタンにて0～9の数字を設定します。

②4桁のパスワードを入力後、[決定] ボタンを押します。

お願い

・管理者用パスワードの初期値は「0000」です。管理者以外の方が設定変更しないよう、必要に応じパスワードを変更してください。

パスワードは必要な方がわかるよう適切に管理してください。

お知らせ：管理者パスワードを忘れてしまった場合、管理者用パスワード登録画面にて[F1] [F2] ボタンを同時に3秒連続押しすると、パスワードを「0000」に初期化できます。

③パスワードが一致すると新規パスワード入力画面になります。

同じ要領で新しい管理者用パスワードを設定し、[決定] ボタンを押します。

④パスワード更新確認画面が表示されますので、[F4]（はい） ボタンにて更新します。

取り消す場合は[F3]（いいえ） ボタンを押します。

お知らせ：管理者用パスワードは下記項目の設定時に必要となります。
・タイマー設定 ・週間スケジュール設定 ・制限設定
各設定の詳細は本リモコンの取扱説明書を参照してください。

4. サービスメニュー〈サービス用パスワードが必要です〉

メイン画面から、「メインメニュー」→「サービス」より各種サービスメニューでの設定、操作を行います。

サービスメニューを選択するとパスワード入力画面が表示されます。

現在設定されているサービス用のパスワード（数字4桁）を入力します。

[F1] [F2] ボタンで桁を選択し、[F3] [F4] ボタンにて0～9の数字を設定します。

4桁のパスワードを入力後、[決定] ボタンを押します。

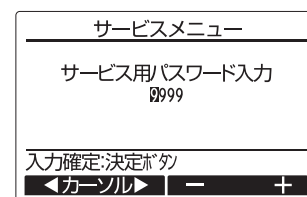
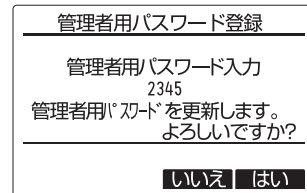
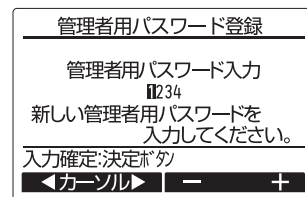
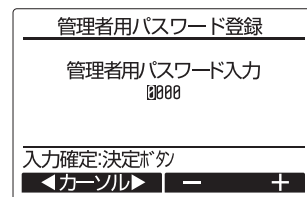
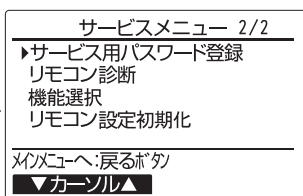
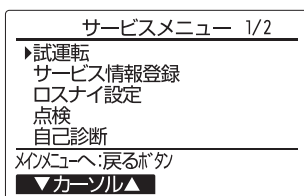
お願い

・サービス用パスワードの初期値は「9999」です。管理者以外の方が設定変更しないよう、必要に応じパスワードを変更してください。

パスワードは必要な方がわかるよう適切に管理してください。

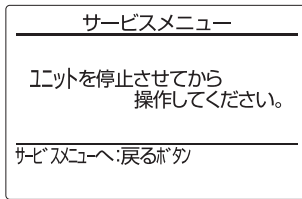
お知らせ：サービス用パスワードを忘れてしまった場合、サービス用パスワード入力画面にて[F1] [F2] ボタンを同時に3秒連続押しすると、パスワードを「9999」に初期化できます。

パスワードが一致すると、サービスメニューが表示されます。



8 各種設定 つづき

お知らせ： サービスメニューの項目によってはロスナイを停止させる必要があります。
また、集中コントローラなどから集中管理中は操作できません。



(1) 試運転

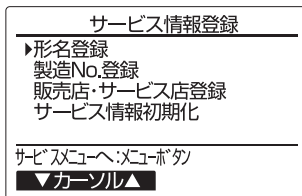
ロスナイは本機能に対応していません。

[戻る] ボタンでサービスメニュー画面に戻ります。

ロスナイの試運転方法については、ロスナイの据付工事説明書を参照してください。

(2) サービス情報登録

サービスメニューにて「サービス情報登録」を選択すると、サービス情報登録画面が表示されます。



お知らせ： サービス情報登録メニューでは下記の設定が行えます。

・形名登録

ロスナイの形名、製造番号を登録します。登録した内容は異常情報画面に表示されます。形名は半角18文字、製造番号は半角8文字まで入力できます。

・販売店・サービス店登録

販売店名、サービス店名および電話番号を登録します。登録した内容は異常情報画面に表示されます。店名は半角10文字、電話番号は半角13文字まで入力できます。

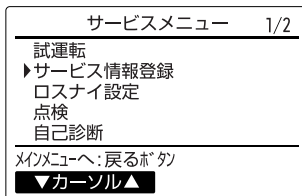
・サービス情報初期化

形名登録内容、または販売店・サービス店登録を選択し、登録内容を全て初期化します。

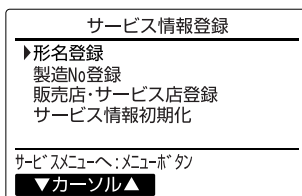
【操作方法】

①リモコンを「サービス情報登録」に切替えます。

①-1 サービスメニュー画面で「サービス情報登録」を選択し、[決定] ボタンを押します。



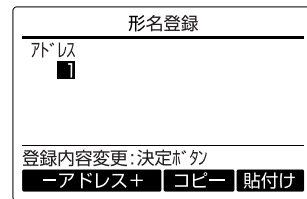
①-2 サービス情報登録画面から「形名登録」を選択し、[決定] ボタンを押します。



②登録するロスナイのM-NETアドレスを選択します。

[F1] [F2] ボタンで登録するM-NETアドレスを選択し、[決定] ボタンを押します。

・ロスナイのM-NETアドレスを設定しない場合は「0」を選択します。代表の1台のみ形名登録を行うことができます。



③形名を登録します。

形名は最大18文字まで入力できます。

・[F1] [F2] ボタンで入力カーソルを左方向、右方向に移動させます。

・[F3] [F4] ボタンで入力カーソル部の文字を選択します。

・入力が終わりましたら[決定] ボタンを押します。(②に移動します)



・グループ内にロスナイが複数台ある場合、②～③の操作を繰り返し、選択したM-NETアドレスのユニット形名を登録します。M-NETアドレスを変更する場合は、③の画面で[戻る] ボタンを押すことで、②の画面に移動しますので、M-NETアドレスの変更を行い、同様の手順で形名登録を行ってください。

上手な使い方…

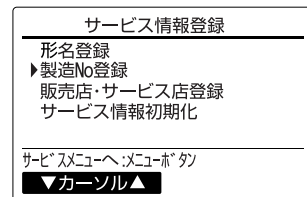
登録した形名情報をM-NETアドレス単位でコピー、貼付けることができます。

・②にて[F3] ボタンを押すことで、選択しているM-NETアドレスの形名情報をコピーします。

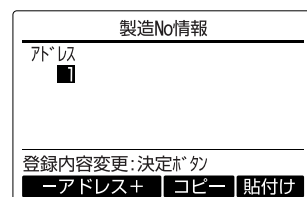
・②にて[F4] ボタンを押すことで、コピーした形名情報を選択しているM-NETアドレスに上書きします。

④製造番号を登録します。

④-1 ①-2で「製造No登録」を選択し、[決定] ボタンを押します。



④-2 ②～③の要領で製造番号を登録します。製造番号は最大で8文字まで入力できます。



8 各種設定 つづき

⑤販売店・サービス店を選択します。

⑤-1 サービス情報登録画面から「販売店・サービス店登録」を選択し、「決定」ボタンを押します。

サービス情報登録	
形名登録	
製造No登録	
▶販売店・サービス店登録	
サービス情報初期化	
サービスメニューへ:メニューボタン	
▼カーソル▲	

⑤-2 [F1] [F2] ボタンで登録する項目(「販売店名」「販売店 TEL NO」「サービス店」「サービス店 TEL NO」)を選択し、「決定」ボタンを押します。

販売店・サービス店情報	
▶販売店	アイエカケカ
TEL No	012-3456-7890
サービス店	サシセタチツト
TEL No	012-3456-7890
登録内容変更:決定ボタン	
▼カーソル▲	

⑥販売店名・サービス店名を登録します。

販売店名、サービス店名を登録します。
形名は最大で10文字まで入力できます。

- ・ [F1] ~ [F4] ボタンで選択カーソルを移動させ入力文字を選択します。
- ・ [決定] ボタンで選択カーソルが示す文字を入力カーソル部に入力します。
- ・ 入力カーソルを移動させたい時とき、選択カーソルで「←」「→」を選択し、「決定」ボタンを押すことで移動します。
- ・ 入力文字を消したいときは、選択カーソルで「DEL」を選択し「決定」ボタンを押すことで入力カーソル部の文字を消去します。
- ・ 入力が終わりましたら選択カーソルで「終了」を選択し「決定」ボタンを押すことで、入力内容を記憶し⑤-2に戻ります。

サービス店名登録	
0123456789-/()	ヤウラキハケツカ
ABCDEFGHIJKLMN	オイアリユミヒコチキ
OPQRSTUVWXYZ	ヨツルヨムフツスク
DEL ←→ツェ.レ.ムハネセヒ	
終了	オ.ロ.モ.ソ.ノ.オ
サービス店名:アイエ12345	
▼カーソル▲ ◀カーソル▶	

選択カーソル

入力カーソル部

⑦販売店 TEL NO・サービス店 TEL NOを選択、登録します。
⑤-2で「販売店 TEL NO」、もしくは「サービス店 TEL NO」を選択し、「決定」ボタンを押します。

⑧販売店 TEL NO・サービス店 TEL NOを選択、登録します。
販売店 TEL NO、サービス店 TEL NOを登録します。

- ・ TEL NOは最大13文字まで入力できます。
- ・ [F1] [F2] ボタンで入力カーソルを左方向、右方向に移動させます。
- ・ [F3] [F4] ボタンで入力カーソル部の文字を選択します。
- ・ 入力が終わりましたら「決定」ボタンを押します。(⑦に移動します)

販売店・サービス店情報	
販売店	アイエカケカ
TEL No	012-3456-7890
サービス店	サシセタチツト
TEL No	012-3456-7890
終了:決定ボタン	
▼カーソル▲ ▼文字▲	

入力カーソル

(3)ロスナイ設定

ロスナイは本機能に対応していません。

[戻る] ボタンでサービスメニュー画面に戻ります。

(4)点検

サービスメニューにて「点検」を選択すると、点検メニュー画面が表示されます。

点検メニュー	
▶異常履歴	
サービスメニューへ:メニューボタン	
▼カーソル▲	

異常履歴

点検メニューにて「異常履歴」を選択し、「決定」ボタンを押すと異常履歴を最大16件表示します。
各ページに4件ずつ表示され、1/4ページの先頭の表示が最新の異常履歴となります。

異常履歴			1/4
異常コード	号機	発生日時	
0900	1	08/04/12 12:34	
0900	2	08/04/12 12:34	
0900	3	08/04/12 12:34	
0900	4	08/04/12 12:34	
点検メニューへ:戻るボタン			
▼ページ▲			消去

【異常履歴消去】

異常履歴が表示されている画面で[F4] (消去) ボタンを押すと、異常履歴消去の確認画面が表示されます。

[F4] (はい) ボタンを押します。

異常履歴	
異常履歴を消去します。	
よろしいですか?	
いいえ はい	

「異常履歴を消去しました」が表示されます。

[戻る] ボタンを押して、点検メニュー画面に戻ります。

異常履歴	
異常履歴を消去しました。	
点検メニューへ:戻るボタン	

(5)自己診断

リモコンにて各ユニットの異常履歴を検索します。

【操作方法】

- ①サービスメニューにて「自己診断」を選択し、「決定」ボタンを押すと自己診断画面を表示します。
- ②[F1] [F2] ボタンにてM-NETアドレスを設定し、「決定」ボタンを押します。
ロスナイのM-NETアドレスを設定しない場合は、「0」を選択します。

自己診断	
M-NETアドレス	1
アドレス確定:決定ボタン	
←アドレス+	

③異常コード・属性が表示されます。

異常履歴が無い場合は、「-」が表示されます。

接点デマンドはロスナイには対応していないため「OFF」が表示されます。

自己診断		
M-NETアドレス	1	
異常コード	5102	属性LC
接点デマンド	OFF	
前の画面へ:戻るボタン		
リセット		

自己診断		
M-NETアドレス	1	
異常コード	----	属性--
接点デマンド	OFF	
前の画面へ:戻るボタン		
リセット		

異常履歴が無い場合の画面例

8 各種設定 つづき

【異常履歴リセット】

- ①異常履歴表示中に[F4] (リセット) ボタンを押すと確認画面が表示されます。

自己診断	
M-NETアドレス	0
異常履歴をリセットします。 よろしいですか?	
いいえ はい	

- ②確認画面にて[F4] (はい) ボタンを押すとロスナイ本体の異常履歴を消去します。
消去できなかった場合は「正常に終了できませんでした。」、ロスナイ本体から応答が無い場合は「対象室内ユニットが存在しません。」を表示します。

自己診断	
M-NETアドレス	0
異常履歴をリセットしました。	
前の画面へ:戻るボタ	

(6) サービス用パスワード登録

サービスメニューの操作を行うためのパスワードを変更します。

【操作方法】

- ①サービスメニューにて「サービス用パスワード登録」を選択し、[決定]ボタンを押すと新規パスワード登録画面を表示します。
②[F1] [F2] ボタンで桁を選択し、[F3] [F4] ボタンにて0~9の数字を設定します。
③4桁のパスワードを入力後、[決定] ボタンを押します。

サービス用パスワード登録	
サービス用パスワード入力	1234
新しいサービス用パスワードを 入力してください。	
入力確定:決定ボタ	
←カーソル▶ - +	

- ④パスワード更新確認画面が表示されますので、[F4] (はい) ボタンにて更新します。
取り消す場合は[F3] (いいえ) ボタンを押します。

サービス用パスワード登録	
サービス用パスワード入力	2345
サービス用パスワードを 更新します。 よろしいですか?	
いいえ はい	

- ⑤パスワード更新の場合は、更新完了画面が表示されます。
⑥[メニュー] ボタンにてサービスメニューへまたは[戻る] ボタンで「サービス用パスワード登録画面」に戻ります。

サービス用パスワード登録	
サービス用パスワード入力	2345
サービス用パスワードを 更新しました。	
サービスメニューへ:メニューボタ	

(7) リモコンの設定初期化

リモコンの取扱説明書を参照ください。

5.機能選択

リモコンから必要に応じて各ロスナイの機能設定を行います。

【お願い】

- 工事終了後、機能選択によりロスナイの機能を変更した場合は、必ず設定内容を各表(13~15ページ)のチェック欄に○印などで記入して確認してください。(リモコン故障時にわからなくなってしまう)
リモコンを交換したときは交換前と同じ設定にしてください。

【操作方法】

①ロスナイの検索

サービスメニューにて「機能選択」を選択すると自動的に現在リモコンが接続されているロスナイの検索を行います。(「検索中」が点滅します)

機能選択	
▶ M-NET アドレス	
機能設定 No	
機能設定値	
検索中	

②M-NETアドレスの表示

検索が終了すると現在リモコンが接続されているロスナイのM-NETアドレスを表示します。ここで設定する必要がある場合は[戻る]ボタンを押して「サービスメニュー」に戻ります)

機能選択	
▶ M-NET アドレス	1
機能設定 No	0
機能設定値	--
実行内容選択	設定/確認
実行:決定ボタ	
▼カーソル▲ -アドレス+	

③M-NETアドレスの選択

ロスナイ1台ごとにM-NETアドレスを設定している場合のみ、M-NETアドレスを選択して機能設定を行うことが可能です。それ以外の場合、M-NETアドレスは必ず「一括」を選択します。

同じグループ内にロスナイが複数台ある場合、グループ内のロスナイを全て同じ設定値にする「一括設定」と、グループ内のロスナイについて個別に設定値を変更する「個別設定」を行うことができます。ただし、「個別設定」に対応していない機能については、必ず「一括設定」を行ってください。

- 「一括設定」を行う場合、「M-NETアドレス」で「一括」を選択します。
- 「個別設定」を行う場合、「M-NETアドレス」で設定値を変更したいロスナイのアドレスを選択します。

お知らせ: M-NETアドレスは[F3]ボタンを押すたびに設定値が「-1」され、「0」の次に「一括」が表示されます。
また[F4]ボタンを押すたびに設定値が「+1」され、「127」の次に「一括」が表示されます。

8 各種設定 つづき

④機能設定を変更する場合

機能設定したいロスナイのM-NETアドレス、機能設定No.、機能設定値を[F1]～[F4]ボタンにて選択し、[決定]ボタンを押します。「設定中」が点滅表示され、正常に完了すると「設定完了」が表示されます。

機能選択	
M-NETアドレス	1
機能設定No	1
機能設定値	2
設定中	

機能選択	
M-NETアドレス	1
機能設定No	1
機能設定値	2
設定完了	
前の画面へ:戻るボタン	

⑤設定内容を確認する場合

確認したいロスナイのM-NETアドレスと機能設定No.を[F1]～[F4]ボタンにて選択し、[決定]ボタンを押します。「確認中」が点滅表示され、正常に完了すると設定されている機能設定値が表示されます。

機能選択	
M-NETアドレス	1
機能設定No	1
機能設定値	確認中

機能選択	
▶M-NETアドレス	1
機能設定No	1
機能設定値	2
実行内容選択	設定/確認
実行:決定ボタン	
▼カーソル▲ ←アドレス+	

M-NETアドレスが「一括」の場合には、設定内容の確認が行えません。
ロスナイのM-NETアドレスを設定しない場合、M-NETアドレスは「0」を選択します。

機能設定一覧

ロスナイの機能を変更した場合は、必ず設定内容を各表のチェック欄に○印などで記入して確認してください。

機能設定No.	機能名称	M-NETアドレス*1	設定値*2						工場出荷時
			0	1	2	3	4	5～15	
29	24時間換気設定	一括	無効	有効	—	—	—	—	0
30	ナイトページ設定/ナイトページ初期風量	一括	無効	有効(特強)	有効(強)	有効(弱)	有効(微弱)	—	0
31	ナイトページ室内外温度差	一括	0℃	1℃	2℃	3℃	4～7℃		5
32	ナイトページ外気温度設定	一括	機能設定値0～15⇒外気温度設定値15℃～30℃(1℃刻み設定)						13
34	外部入力設定	個別	グループ一括	個別	—	—	—	—	0
36	外気温度表示	一括	表示なし	表示あり	—	—	—	—	1
37	室内温度表示	一括	表示なし	表示あり	—	—	—	—	1
38	給気(計算値)温度表示	一括	表示なし	表示あり	—	—	—	—	1
39	温度交換効率補正(十の位)	一括	機能設定値0～9⇒温度交換効率(十の位) 0～9						7
40	温度交換効率補正(一の位)	一括	機能設定値0～9⇒温度交換効率(一の位) 0～9						0
41	外気温度補正	一括	機能設定値一括0～14⇒外気温度補正-7℃～7℃(1℃刻み設定)						7
42	室内温度補正	一括	機能設定値一括0～14⇒室内温度補正-7℃～7℃(1℃刻み設定)						7
50	一括リセット	一括	しない	する	—	—	—	—	0

*1 同じグループ内にロスナイが複数台ある場合、グループ内のロスナイについて、個別に設定値を変更する「個別設定」に対応しているかどうかを示します。

- ・「個別」: 「個別設定」に対応しています。機能選択の「M-NETアドレス」で設定値を変更したいロスナイのアドレスを選択します。
- ・「一括」: 「個別設定」に対応していません。グループ内のロスナイすべてを同じ設定値にしてください。「8.5.機能選択」の「M-NETアドレス」で「一括」を選択します。

*2 詳細は各設定項目を確認してください。

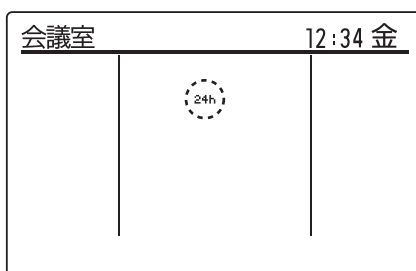
■24時間換気設定

運転中に[運転/停止]ボタンを押したとき、停止するか、最小風量で運転を継続するかを設定します。

最小風量で運転を継続するとき、24時間換気運転の専用画面となります。

詳細についてはリモコンの取扱説明書を参照してください。

機能設定No.	機能設定値	モード	機能	チェック
29	0	無効	通常(工場出荷時) 運転中に[運転/停止]ボタンを押したとき停止します	
	1	有効	24時間換気 運転中に[運転/停止]ボタンを押したとき最小風量で運転を継続します	



24時間換気設定が有効のとき、メイン画面に「24h」が表示されます。

8 各種設定 つづき

■ナイトパーズ設定

夏季の夜間（AM1:00～AM6:00）に室内にこもった熱気を自動排気して、翌朝の冷房負荷を軽減させます。ナイトパーズ運転のときの風量・ナイトパーズ運転を開始する室内外の温度差・外気温度を設定することができます。ナイトパーズ運転中は専用画面となります。詳細についてはリモコンの取扱説明書を参照してください。

▶ナイトパーズ運転開始条件

ナイトパーズ設定を有効にした場合、以下の条件を全て満たしたとき、ナイトパーズ運転を開始します。

条件	内 容	機能設定 No.
1	時刻表示がAM1:00～AM6:00	—
2	室内外温度差が5°Cより大きい（室内温度－外気温度>5°C） *設定変更可能です。	31
3	室内温度が22°Cより高い（室内温度>22°C）	—
4	停止中または24時間換気運転中（運転中以外するとき）	—
5	以下のいずれかの条件を満たした（夏季判定） ・24時間以内に28°C以上の外気温度を検知した（外気温度≥28°C） *設定変更可能です。 ・当社マルチエアコンとロスナイをMELANS（フリープラン）で連動させている場合で、マルチエアコンの運転モードが冷房になっている	32

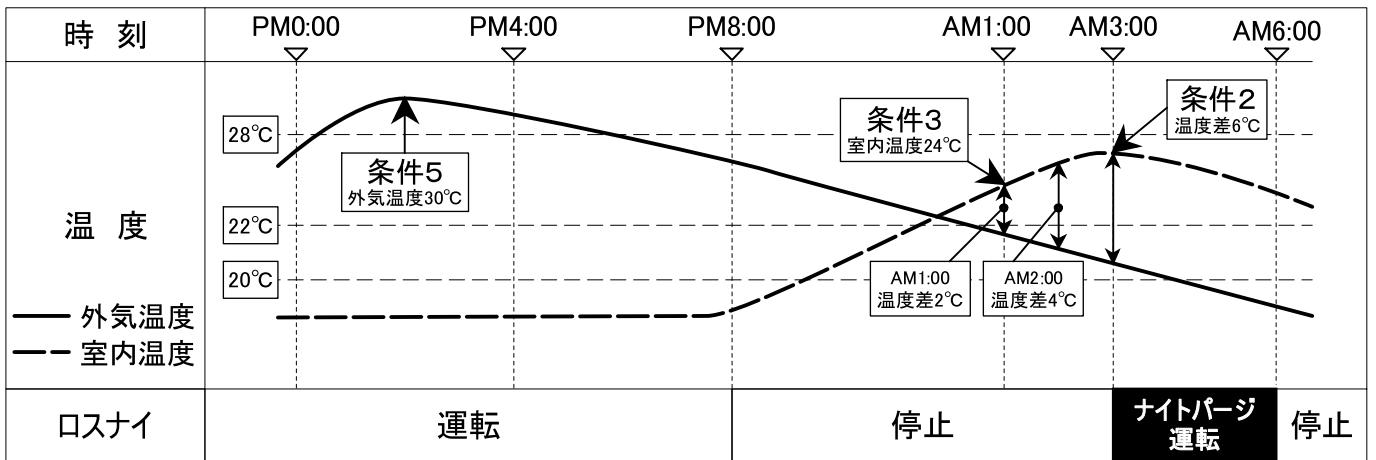
お知らせ：

- 時刻表示がAM1:00になったとき条件4、条件5を満たしていれば、室内温度、外気温度を測定するため、5分間のナイトパーズ運転を行います。5分後に条件2、条件3を満たしていればナイトパーズ運転を継続し、満たしていなければ停止します。
- ナイトパーズ運転中に条件1～条件3を満たさなくなったときは停止します。
- 時刻表示がAM1:00～AM6:00の間は条件2、条件3を満たしていないときは、1時間毎に5分間のナイトパーズ運転を行います。
- 時刻表示がAM1:00～AM6:00の間に「運転/停止」ボタンを押してロスナイを運転させた場合は翌日までナイトパーズ運転は行いません。

●ナイトパーズ運転タイムチャート（条件2、条件5は工場出荷時の設定値）

ナイトパーズ設定が有効で、時刻がPM8:00のときにロスナイを停止させています。

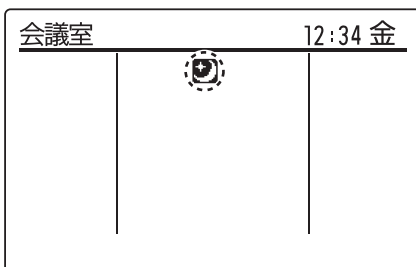
- 時刻がAM1:00になったとき、またAM2:00になったときは、室内外温度差が5°C以下のため、ナイトパーズ運転は行いません。
- 時刻がAM3:00になったとき、室内外温度差が5°Cより大きいため、ナイトパーズ運転を開始します。



▶ナイトパーズ設定/風量設定

ナイトパーズ設定の有効/無効、ナイトパーズ運転のときの風量を設定します。ロスナイにない機能の風量設定はしないでください。

機能設定 No.	機能設定値	モード	機 能	チェック
30	0	無効	（工場出荷時）	
	1	有効	特強風量	
	2	有効	強風量	
	3	有効	弱風量	
	4	有効	微弱風量	



ナイトパーズ設定が有効のとき、メイン画面に「」が表示されます。

8 各種設定 つづき

▶ 室内外温度差設定

ナイトパーズ運転開始条件の室内外温度差（条件2）を設定することができます。

機能設定 No.	機能設定値	室内外温度差	動作	チェック
31	0	0℃	室内外温度差が0℃より大きい（室内温度－外気温度>0℃）	
	1	1℃	室内外温度差が1℃より大きい（室内温度－外気温度>1℃）	
	2	2℃	室内外温度差が2℃より大きい（室内温度－外気温度>2℃）	
	3	3℃	室内外温度差が3℃より大きい（室内温度－外気温度>3℃）	
	4	4℃	室内外温度差が4℃より大きい（室内温度－外気温度>4℃）	
	5	5℃	室内外温度差が5℃より大きい（室内温度－外気温度>5℃）（工場出荷時）	
	6	6℃	室内外温度差が6℃より大きい（室内温度－外気温度>6℃）	
	7	7℃	室内外温度差が7℃より大きい（室内温度－外気温度>7℃）	

▶ 外気温度設定

ナイトパーズ運転開始条件の外気温度（条件5）を設定することができます。

機能設定 No.	機能設定値	外気温度	動作	チェック
32	0	15℃	24時間以内に15℃以上の外気温度を検知した（外気温度≥15℃）	
	1	16℃	24時間以内に16℃以上の外気温度を検知した（外気温度≥16℃）	
		
	13	28℃	24時間以内に28℃以上の外気温度を検知した（外気温度≥28℃）（工場出荷時）	
	14	29℃	24時間以内に29℃以上の外気温度を検知した（外気温度≥29℃）	
	15	30℃	24時間以内に30℃以上の外気温度を検知した（外気温度≥30℃）	

■ 外部入力設定

以下の外部入力に対し、グループ一括で制御するか個別に制御するか設定します。

・外部風量入力 ・外部普通（バイパス）入力

機能設定 No.	機能設定値	動作	チェック
34	0	一つの信号でグループ一括制御（工場出荷時）	
	1	個々のロスナイにそれぞれ信号を入れて制御	

■ 外気温度表示

「8.3.(6)③検知温度表示」を「する」に設定しているとき、外気温度の表示する/しないを設定します。

機能設定 No.	機能設定値	動作	チェック
36	0	表示しない	
	1	表示する（工場出荷時）	

■ 室内温度表示

「8.3.(6)③検知温度表示」を「する」に設定しているとき、室内温度の表示する/しないを設定します。

機能設定 No.	機能設定値	動作	チェック
37	0	表示しない	
	1	表示する（工場出荷時）	

■ 給気温度表示

「8.3.(6)③検知温度表示」を「する」に設定しているとき、給気温度(計算値)の表示する/しないを設定します。

機能設定 No.	機能設定値	動作	チェック
38	0	表示しない	
	1	表示する（工場出荷時）	

■ 温度交換効率補正

給気温度(計算値)を算出するための温度交換効率を補正します。

機能設定 No.	機能設定値	動作	チェック
39	0	十の位：0	
	1	十の位：1	
	2	十の位：2	
	
	7	十の位：7（工場出荷時）	
	8	十の位：8	
40	0	一の位：0（工場出荷時）	
	1	一の位：1	
	2	一の位：2	
	
	8	一の位：8	
	9	一の位：9	

※リモコン検知温度表示のみ補正します。

■ 外気温度補正

「8.3.(6)③検知温度表示」で外気温度の表示値を補正します。

機能設定 No.	機能設定値	動作	チェック
41	0	-7℃補正	
	1	-6℃補正	
	...		
	6	-1℃補正	
	7	補正なし（工場出荷時）	
	8	+1℃補正	
	...		
	13	+6℃補正	
	14	+7℃補正	

※リモコン検知温度表示のみ補正します。

8 各種設定 つづき

■室内温度補正

「8.3.(6)③検知温度表示」で室内温度の表示値を補正します。

機能設定 No.	機能設定値	動作	チェック
42	0	-7℃補正	
	1	-6℃補正	
	...		
	6	-1℃補正	
	7	補正なし（工場出荷時）	
	8	+1℃補正	
	...		
	13	+6℃補正	
	14	+7℃補正	

※リモコン検知温度表示のみ補正します。

■一括リセット

機能設定No.1～49の設定値を全て工場出荷時の値に戻します。

機能設定 No.	機能設定値	動作	チェック
50	0	リセットしない（工場出荷時）	
	1	リセットする	

9 リモコン診断

リモコンからの操作がきかない場合、本機能によりリモコン診断を行ってください。

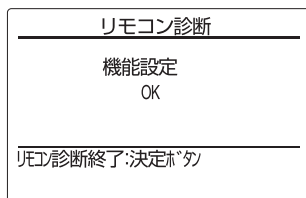
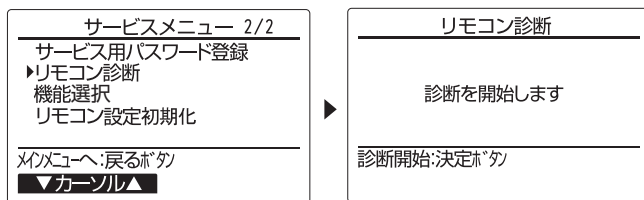
まずはリモコン表示の有無を確認してください。（野線含む）

リモコンに正常な電圧（DC12V）が印加されていない場合、リモコンには何も表示されません。

この場合は、リモコン配線、ロスナイを点検してください。

【操作方法】

- ① サービスメニューにて「リモコン診断」を選択し、**[決定]**ボタンを押すとリモコン診断を開始し、結果を表示します。
 リモコン診断を行わない時は、**[メニュー]**または**[戻る]**ボタンを押すと、サービスメニュー画面に戻ります。
 このとき、リモコンは再立上げを行いません。



リモコン診断結果の画面

OK:

リモコンに問題はありません。他の原因を調査してください。

E3、6832:

伝送線にノイズがのっている、あるいはロスナイ、他のリモコンの故障が考えられます。

伝送路、他のコントローラを調査してください。

NG (ALLO、ALL1) :

リモコン送受信回路不良です。

リモコンの交換が必要です。

ERC (データエラー数) :

データエラー数とはリモコンの送信データのビット数と実際に伝送路に送信されたビット数の差を示します。

この場合、ノイズなどの影響で送信データが乱れています。伝送路を調査してください。

- ② リモコン診断結果表示後、**[決定]**ボタンを押すとリモコン診断を終了し、自動的に再立上げが行われます。